

学校名	福島県立浪江高等学校津島校	校長	佐藤 京治
住所	福島県二本松市郭内 2-347 (安達高校内仮設校舎)	TEL	0243-23-2327
ホームページアドレス	<a href="http://www.namie-h-tsushima.fks.ed.jp/">http://www.namie-h-tsushima.fks.ed.jp/</a>		

【タイトル】

# ～未来への軌跡～

【取組の概要】

本校は、現在3学年1クラス12名が在籍し、充実した学校生活を送っています。浪江町津島地区出身の生徒は1名であり、多くの生徒が二本松市・本宮市の出身ではありますが、望ましい人間関係を築きながら、全員卒業に向けて教職員・生徒が一丸となり努力しています。

震災復興に関する行事や様々なコンテストなどにも積極的に参加し、第36回福島県川柳賞「青少年奨励賞」に入賞、道徳教育総合支援事業「モラル・エッセイ」コンテストに入賞するなど、総合的な学習の時間や道徳教育の充実にも力を入れています。

【内 容】

○歴史探究学習

平成28年11月21日と22日の2日間にわたり、長野県で歴史探究学習を実施しました。仮設校舎という厳しい教育環境で学校生活を送る生徒に、平素の学習環境とは異なる場所で、歴史・伝統文化への理解を深めることにより、豊かな見識や情操の育成を図ることを目的としました。上田城の見学においては、事前学習で学んだことを実際に肌で体験することで、歴史に対する興味・関心はもちろんのこと、歴史的思考力や広い視野から考察する力を高めることができました。その他に、そば打ち体験を通して食文化の探究、街歩きによる地域産業の課題や特色の考察など充実した学習体験をすることができました。



○参加者の感想

歴史は苦手だったけど、実際に使用されていた鎧や衣装、鉄砲を撃つ場所を見て触れることができ、歴史のおもしろさを知ることができました。



○N I E活動

今年度の津島校は、さらなる言語活動の充実のため、N I E活動を行っています。また、進路活動に向け、特に面接試験への意識向上のため、「ニュースを読む」「ニュースを見る」習慣を付けることを目的に取り組んできました。新聞での学習は、主権者教育にも大いに役立ちました。初めの頃は、稚拙な文章でのコメントが多かったのですが、回を重ねるにつれ記事を選ぶ力も向上し、またその記事に対する自分の考え、コメントにも磨きがかかってきました。その甲斐あってか、進路も生徒全員の就職が決まり、無事に卒業することができそうです。今後も社会人の心構えとして、とりあえず新聞は読んで、ニュースも見て、コミュニケーションのきっかけとして欲しいと思います。

○生徒の感想

- ・新聞を読む習慣が付きました。
- ・社会人なるにあたり、もう少し身の回りのことに興味を持とうと思いました。
- ・津島独自のN I E活動で、就職面接試験でうまく答えることができました。新聞やニュースを見ることは大切だと改めて感じました。